



木村 秀樹
水曜会
(60分)

**福山北産業団地第Ⅱ期事業
推進に向けての考えは**

問 ①第Ⅰ期事業の成果は。
②第Ⅱ期事業の概要は。

答 ①第Ⅰ期事業では、25社に
対し約32ヘクタールを分譲した。
成果としては、第Ⅰ期進出企業か
らの聞き取りによれば企業全体で
の売上額が年間約590億円と



石口 智志
水曜会
(60分)

道路網の整備計画は

問 ①幹線道路の交通環境の
悪さは物流等経済や市民生活に
多大な影響を与えている。慢性
的な渋滞解消に向けての計画は。
②市町間をつなぐ幹線道路の整
備についての考えは。

答 ①国道2号の渋滞対策に福
山道路の整備は不可欠で、現在事

なっており、地域経済に一定の波
及効果をもたらしていると考え
る。また、雇用者数が約240人の新
規雇用を含む約900人となっ
ており、本市の経済活性化に大きく
寄与しているものと認識している。
②第Ⅱ期事業の現時点での分譲面
積は約24ヘクタールの計画となっ
ており、市が施工主体として事業
に取り組む。引き続き、修正後の
基本計画やこれまでの検討資料を
基に、事業費や財源、スケジュー
ルなどの最終的な精査を行った上
で、新年度の当初予算に必要な予
算を計上していく。

業化している区間の早期の工事着
手に向け用地取得に取り組んでお
り、平成29年10月末現在の用地取
得率は約84%である。北部方面か
ら市中心部への幹線道路の抜本的
な渋滞対策としては、県事業の福
山西環状線の整備が必要で、全延
長約8・9キロメートルの用地取
得率は平成29年10月末現在で約
48%である。引き続き、県と連携
し、事業の着実な推進に努める。
②近隣地域の8市1町で構成する
備後地区建設促進協議会において
引き続き、国や県に対して道路整
備の促進を要望していく。



喜田 紘平
水曜会
(70分)

持続可能なまちづくりへの対応は

問 ①市内の大学卒業生の地
元定着率向上の取り組みは。
②生産年齢人口の移住策は。
③チャレンジ・ウィークふくや
までの第2次産業の受け入れ事
業所の確保は。
④医療的ケア児への対応は。



宮地 徹三
公明党
(50分)

市長の新年度に向けた取り組みは

問 予算編成方針と施策は。
答 5つの挑戦の加速、人口減
少対策、備後圏域における拠点機
能の強化を3つの柱に福山北産業
団地第Ⅱ期事業、駅前再生や福山
城築城400年事業、中学校給食
の整備加速などに取り組む。また
リーデンローズや新総合体育館の

保で悩んでおり、地元定着率向上
は今後の市内企業の活性化にとっ
ても不可欠である。地元定着率向
上を図るため地元企業を知っても
らう取り組み等を入れていく。
②積極的な情報発信等により本市
への移住促進に努めていく。
③第2次産業で職場体験をする生
徒が全体の1割未満である。引き
続き生徒が体験できる新たな事業
所の受け入れ拡大に向け取り組む。
④教育行政では、受け入れを基本
に実態に応じて看護介助員を配置
していく。保育行政では、受け入
れ拡大に向け検討していく。

活用等により、芸術・文化やスポー
ツ、産業の拠点性を高めていく。
就労継続支援A型事業所の破綻は

問 解雇された利用者保護は。
答 障がい福祉課に専用の相談
窓口を設置するとともに、再就職
に向けた支援として12月18日に合
同面接会、21日に障がい者就労説
明会を予定している。また、未払
い賃金の確保に向け県や関係市と
連携して取り組む。今後とも利用
者一人一人に相談や支援を行うな
ど利用者保護に全力で取り組む。